

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道496号 <small>とよつさいかわ</small> 豊津犀川バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県京都郡豊津町大字光富 至：福岡県京都郡犀川町大字横瀬				延長	6.2 km
事業概要	現道が幅員狭小で、線形不良で、歩道も未整備であり交通安全に支障を来しているため、延長6.2kmのバイパス事業を昭和63年度から実施している。現在までに3.1kmの供用を開始している。					
S63年度事業化	都市計画決定なし (H 年度変更)		S63年度用地着手	H1年度工事着手		
全体事業費	60 億円		事業進捗率	90 %	供用済延長	3.1 km
計画交通量	4,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 23.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 9/79億円 事業費：4/74億円 維持管理費：5/5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 216/111億円 走行時間短縮便益：192/108億円 走行費用減少便益：19/2億円 交通事故減少便益：5/1億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する） <p style="text-align: right;">他2項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	平成5年に沿線の10市町により別府耶馬溪行橋ルート国道整備促進期成会（会長 別府市長）が発足しており、国や県に対し活発な要望活動（H15.7）が行われている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	犀川町では「犀川町まちづくり主要地域整備基本構想」を策定し、一般国道496号を核としたまちづくりを推進している。昭和63年度の交通量2,100台/日から平成6年度の交通量2,599台/日となっており約2割の交通量が増加している。平成11年度の交通量は1,464台/日である。これは、平成9年度にセンサス区間が一部バイパスを供用開始しているために、主要交通がバイパスに転換したためと思われる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに3.1kmを部分供用しており、平成15年度末までに90%の事業進捗の予定。 残事業：物件2件、用地面積 A = 4,000m ² 、橋梁1橋、舗装 L = 770m					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成10年代後半の完成に向けて、用地買収が終了後、速やかに工事に着手し、事業を進捗していく。					
施設の構造や工法の変更等	経済性を考慮した最適な平面や縦断の線形を選定するとともに、各種工法の採用においても常に経済性を視野に入れて、コスト縮減を図っている。今後も、新工法・新技術等を積極的に検討・採用し、コスト縮減に努めていく。					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	第1次緊急輸送道路ネットワークに指定されるも、未改良であり、防災点検箇所を含み、迂回する代替道路もないなど整備の必要性が高く、本路線を核とした町の振興計画に寄せる期待も大きいため					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。